

令和3年第4回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	21	富田文志	1 市長選挙出馬の表明について (1) 来春の市長選挙を控え5選出馬の意思表示について伺う 2 新年度予算編成の考え方について (1) 骨格的な予算編成になると思うが、考えを伺う 3 水害軽減のための遊水地の在り方について (1) 蕪栗沼遊水地の今後の在り方について伺う 4 師山地区潜水橋（潜り橋）について (1) 利用実態と本格的な橋への架け替えの考えについて伺う
2	5	山口 壽	1 大崎市が脱炭素社会を目指して、市や市民への具体的な取組について (1) 市執行部でゼロカーボンについてどのような対策を考え、計画、実行されるのか伺う (2) 市民に対して脱炭素社会をどのように呼びかけ、事業を推進していくのか伺う (3) 市はカーボンニュートラルをどのように捉えて、政策を打ち出し、補助事業等を考えているのか伺う (4) 環境基本条例の中で脱炭素社会を取り入れた場合、条例の見直し等はあるのか伺う 2 食用米過剰在庫を抱えた稲作農業、大崎市の水田農業対策をどう考えるか (1) 国の農業政策と大崎市の水田農業を照らし合わせたとき、各農家に適切に対応された内容になっていると考えているのか伺う (2) 来年度の米価格安定に必要なことを市として検討されているのか伺う 3 3年目に入ろうとしているコロナ禍社会での大崎市観光振興対策について (1) 新型コロナウイルス感染もワクチン接種の影響もあり、収まりつつあるが新たな変異株が発生し観光産業は厳しい状況だが、新しい打開策はあるのか伺う (2) 温泉地の観光活性化対策はないのか伺う
3	25	木内知子	1 不登校対策について (1) フリースクールを利用しやすくすることについて (2) 将来、下伊場野小学校を不登校児童生徒の特例校にできないか 2 DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に見える課題について (1) 市民に受け入れられるものになっているのか (2) プライバシーや個人情報を守られるのか 3 学校でのICT機器活用について (1) 学校及び児童生徒間の格差発生の懸念はないのか。また、その対応策について

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
4	11	佐藤弘樹	<p>1 実効性のある産業振興施策について</p> <p>(1) おおさき産業推進機構の内容と役割への考え</p> <p>(2) 創業支援の強化と人材育成策の具体的な内容</p> <p>(3) 鳥獣被害対策におけるジビエ利活用の推進状況は</p> <p>(4) 中小企業及び小規模企業振興基本条例の検証と効果は</p> <p>(5) 滞在交流型観光の推進状況は</p> <p>(6) 世界農業遺産の普及啓発状況と効果は</p> <p>2 将来を見据えた教育行政について</p> <p>(1) 地域学校協働活動の現況と推進への考え</p> <p>(2) 不登校児童生徒への対応状況</p> <p>(3) 音楽が聞こえる都市（まち）づくり事業の検証と効果</p> <p>(4) 今後の学校給食センター建設見込み</p> <p>(5) 学力向上対策の取組状況</p>
5	4	山口文博	<p>1 コロナ禍以降に懸念される初等教育について</p> <p>(1) オンライン化、デジタル化による及川平治氏が提唱した分団式動的教育法の実践について伺う</p> <p>ア デジタルの活用による児童の能力発達を重要視した教育実践について伺う</p> <p>(2) コロナ禍によって貧困層の拡大が懸念されている。教育は貧困を脱するための希望となるが、家庭環境による教育格差について伺う</p> <p>(3) 不登校の対応として、オンライン授業と特別教室の設置について伺う</p> <p>2 アニメを活用した経済活性化について</p> <p>(1) 大崎市における経済効果対策として、アニメツーリズム「聖地巡礼」を活用した観光客の増加を促すことについて伺う</p> <p>ア 大崎市が舞台のアニメ拠点をつくり、クールジャパンの視点を含め、外国人や日本人観光客の増加による地域活性化について伺う</p> <p>イ 観光地のアニメ聖地化により見込まれる経済効果、影響について伺う</p> <p>(2) 世界農業遺産関係の商品販売促進や広報活動などへの利用について伺う</p> <p>ア アニメとのコラボイベント開催などで、新規の客層に対して地域ブランドを浸透させる必要性について伺う</p> <p>イ 物産販売や観光などの宣伝活動や広報活動への利用について伺う</p>
6	28	佐藤 勝	<p>1 「宝の都・おおさき」のこれからの「まちづくりと人材育成」の再構築を図ることが喫緊の課題であるが、総合計画をはじめとする見直しが集中する今回は、合併 20 年を迎えるも、まもなくその 5 年後に自治体間競</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			<p>争で一歩先に進める市民と共に歩む協働のまちづくりについてどう考えるのか</p> <p>(1) 地方創生とは、地方が独自性を持ち多様な発展をしていくため、権限と財源の一体的な移譲であったはずが、人口問題にすり替え、地方消滅と言い切った日本創生会議は今や活動休止です。</p> <p>日本全体で人口減少の時代に、人々の生活拠点を地方へと、強制的に移動を求めることなどは、本末転倒の政策でしかなかったとも言えます。人が地方に住めば活性化に結びつくのではなく、その地域でできる産業と人を育て、生活を創り上げているからこそ人が集まってくるのです。</p> <p>そこで市は、総合計画と各種計画の見直しを図っている今だからこそ、新たな付加価値を生み出すチャンスと捉え、これまでと異なるアプローチ（おおさき未来会議や幸福度）での戦略が必要と考えるが、市長の所見を伺うものであります。</p> <p>伊藤市長が話す「温故創生」という造語の期待感は評価します。しかし、いまだ途についたばかりで、市民や職員の認知度率はまだまだ先であることを、私ども総務常任委員会の調査活動から学ぶことができました。その例を示し、「まちづくり」を共有し、互いに主体的に関わり合い、まちのことが自分たちの生活に直接つながるよう、行動を起こす市民が1人でも多くなることを望み、市長の所見を伺います</p> <p>ア 市民と行政が役割を補完し合うまちづくりが進められているか。また、活動がマンネリ化し、まちづくりの地域リーダーが育っていない感については、これまで市と議会で議論を重ね、共有を十分図ってきたと思うが、その改善はどう具体に行うのか。</p> <p>そして今、市民協働の第2ステージの地域づくりをどう進化させていくのか</p> <p>イ 自治組織は、自らが地域の役に立ちたいという認識から始まると思うが、市民意識調査で社会参加したことがあるは、僅か0.7ポイント増で、市民協働の危機感と第2ステージのまちづくりをどう進化させようと考えているのか</p> <p>ウ 市役所は、「市民にとって役に立つところ」で、市民との信頼関係の上に話し合う協働のまちづくりが成り立つが、改訂人財育成基本方針から一年で職員の意識改革がどう進んでいるのか</p> <p>エ 地域づくりで欠かせないのが、徹底したジョブローテーション制、そして多面的な評価や課内の提案制度、若手や女性職員のやる気を引き出す等の制度設計が遅れていることはなぜか。そして、そのアクションはいつからか</p> <p>オ 行政はスピード感が不足していると言われるが、市民に寄り添う姿勢と前例踏襲主義からの改革に、若</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
7	18	関 武徳	<p>手が柔軟な思考力を発揮できるような環境を上司と管理職はどのような意を持って組織力を高めているか</p> <p>カ 総合計画の4章1節に「誇りある農業の振興」とあるが、「持続的な発展をめざす農業」と変えることはできないか。前期計画では、認定された農業者さえ自慢することができなかったが、これをどう評価した結果なのか</p> <p>キ 総務常任委員会では、地域の小学校跡地利用や地域活性化のための検討会議、来年4月オープン「なのかまち交流プラザ」の名称などを議論したが、大崎市話し合う協働のまちづくり条例の理念の実現はまだまだと思うが、その要因は</p> <p>ク 市道修繕に比べ、区長さんは半ばあきらめの状況。これを打開するための予算措置と、補完する市民協働の取組に思いきった対策を</p> <p>1 西地区熱回収施設整備事業進捗に伴う、地域振興策や環境対策への本市の取組について</p> <p>(1) 施設設置地域から提出されていた要望書に、どう対処してきたのか伺う</p> <p>(2) ワークショップ開催による、新たな地域振興への展開や具体策はどう捉えられたのか</p> <p>(3) 新施設に合わせ、SDGsの観点からも、ごみの減量化や3R運動への取組の強化、推進が必要だが、具体的な取組の考えを伺う</p> <p>2 経済・景気回復への対策、支援の考えについて</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症をはじめ原油高騰で地元事業者や市民生活に影響が出ている。現状把握と対策をどう取り組まれているのか</p> <p>(2) 新年度予算編成で、対策、取組はどう考えられるのか</p> <p>(3) 生活困窮者への具体的支援が必要ではないか</p> <p>3 旧市民病院南病棟の維持、活用について</p> <p>(1) 南病棟の活用については、課題の多いことは承知をしているが、どのように検討されているのか伺う</p> <p>(2) カラス対策はどのように取り組まれているのか伺う</p>	
8	1	早坂 憂	<p>1 鳴子温泉地域の魅力アップ策について</p> <p>(1) 旧鳴子総合支所並びに職員駐車場跡地の利活用策について</p> <p>ア 現段階で決まっている解体時期等の見通しについて伺う</p> <p>イ これまで議論されている利活用策について。また、その議論について地域住民の意見はどれほど反映されているのか</p> <p>ウ 足湯等を整備した「温泉公園」整備の可能性について、所見を伺う</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>(2) ペットと宿泊することができる温泉郷として、「さらなる癒やし」を核とした新たな鳴子温泉の魅力をつくることについて</p> <p>ア 温泉各地区へのドッグラン整備の可能性について伺う</p> <p>イ ペットと宿泊を可能とするための新たな施設整備に対し、補助金を交付することはできないか、所見を伺う</p> <p>ウ ペット同伴で参加できる「世界農業遺産体験ツアー」や「オルレ」を企画することについて、所見を伺う</p> <p>(3) 「NARU-G o!再生プロジェクト」との連携やサポートについて</p> <p>ア 民間有志の皆さんで立ち上げた「NARU-G o!再生プロジェクト」に対し、これまで行政としてどのようなサポートを行ってきたのか、そして今後はどのようなサポートを考えているのか伺う</p> <p>イ 宮城県が行う「観光地空き家利活用推進モデル業務」で、鳴子温泉がモデルとなったが、大崎市はどのように把握し、同様の空き家調査を以前行った「NARU-G o!再生プロジェクト」とどのように連携するのか伺う</p> <p>ウ アフターコロナ、ポストコロナへ向けて、行政と民間がしっかりと連携している姿を見ていただき、にぎわいを取り戻すために様々な発信を行っていくべきと考えるが、市としての考えを伺う</p>
9	16	加藤善市	<p>1 農業のDXの推進策について</p> <p>(1) 現在考えている方法、時期、タイムスケジュール</p> <p>2 ふるさと納税について</p> <p>(1) 今年の実績について</p> <p>(2) 他市と比べ大崎市の実情は</p>
10	2	伊勢健一	<p>1 空き家対策について</p> <p>(1) 市内における空き家の現状について</p> <p>(2) 空き家に対する本市の基本的方針について</p> <p>(3) 空き家の跡地活用の現状について</p> <p>2 今後の観光振興について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染が沈静化してきているが今後の観光振興への考え方について</p> <p>(2) これからの観光PRの本市の方針について</p> <p>(3) 市民と協働の観光PRが必要と考えるが、その方針について</p> <p>3 防災について</p> <p>(1) 自主防災組織の連合組織の現状と今後の展望について</p> <p>(2) 災害時の市役所緊急初動隊の役割について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
11	26	佐藤和好	<p>(3) 小中学校における防災体制と防災教育の現状について</p> <p>4 教育について</p> <p>(1) 令和4年度から実施される教科担任制への準備状況について</p> <p>(2) 教員免許更新制廃止後の教員の指導力向上へ向けた方策について</p> <p>5 小学校跡地利活用について</p> <p>(1) 閉校した旧清滝，宮沢，富永小学校の跡地利活用へ向けた取組の現状について</p> <p>1 財政について</p> <p>(1) 「令和4年度予算編成方針」，「財政健全化行動指針」からの諸課題について</p> <p>ア 令和3年度への予算繰越額，約 26.9 億円の部別事業費額と執行進捗管理の状況について</p> <p>イ 令和3年度も第3四半期が終わろうとしているが，翌年度への繰越明許事業の見込み</p> <p>ウ 経常収支比率の上昇に伴う財政硬直化改善策として，公共施設マネジメントの推進を掲げているが，公共施設等総合管理計画個別推進計画の具体議論はどうなっているのか</p> <p>(2) 政府は本年 11 月 26 日臨時閣議において 2021 年度補正予算案，過去最大の 35 兆 9,895 億円を決定した。地方交付税は 4 兆 2,761 億円とされているが，2022 年度に繰越分を除く 1 兆 9,000 億円の自治体追加配分額は本市にいくら配分されると分析しているか</p> <p>2 原油高対策について</p> <p>(1) 補正予算での政府の対策は，ガソリン，灯油，軽油，重油の 4 種類を対象に原油価格が一段と上昇した場合，元売りに卸価格の引き上げを抑制するための補填をするようだが，国・県の対策内容と特に広く市民全体の家計に影響を及ぼす灯油の値上がりも深刻で生活困窮世帯に対する市独自支援の考えについて，所見を伺う</p> <p>3 市長改選期を迎える伊藤市長の抱負について</p> <p>(1) 広報おおさき 12 月号市長コラム「天地人」において，祝誕生 15 周年のタイトルで「15 周年記念式典」の模様と，簡潔に 15 周年の振り返りを著され，結びにアフターコロナに代表される新時代の市政推進を力強く市民に呼びかけており，市政執行継続の意思表示と理解するものだが，市長の抱負を伺う</p>
12	14	鎌内つぎ子	<p>1 子どもの医療費 18 歳まで無料で，所得制限をなくすことについて</p> <p>(1) 第2次総合計画後期基本計画の中で子育て環境の充実を重点施策に掲げているが，対象年齢の拡大及び所得制限の撤廃の実施時期はいつと考えているのか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
13	6	佐藤仁一郎	<p>2 学校給食費無料化について</p> <p>(1) 栗原市では来年度実施する予定であるが本市でも実施すべき</p> <p>(2) 憲法第 26 条に「義務教育は無償」と定められているが、義務教育期間は給食費も無償にすべき</p> <p>3 古川横沢霊園拡張計画について</p> <p>(1) 現状と今後の見通しについて</p> <p>4 大崎市内に保存されている S L について</p> <p>(1) 保存会との話合いの状況について</p>
14	20	只野直悦	<p>1 黒部市との姉妹都市締結による今後の交流等について</p> <p>(1) 今後、どのような形で交流活動を進めていくか伺う</p> <p>(2) J R 黒部駅周辺で進められてきた、住まいづくり「パッシブタウン」の考え方を手本として、地熱発電所の設備更新工事が進められている鬼首地区に、そこで働く人々の住居、地域拠点施設、物品販売施設などを、一体的に整備できれば、地域の産業及び観光振興に大いに役立つと考えるが、所見を伺う</p> <p>2 田んぼダムの今後の推進策について</p> <p>(1) 田んぼダムは、水系や流域全体で取り組むことが重要であり、それぞれの水系の上流域は、本市と異なる町村の区域となっているところもある、そうした町村との連携は図られているのか伺う</p> <p>(2) 田んぼダムは、地域、流域全体で取り組めば、その効果は大きく、山間部の農村から中流の市街地や下流域の水田地帯などに及ぶが、この事業に取り組む組織や個人などに、どのような支援策を用意することが可能なのか伺う</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症の再拡大防止に向けた本市の取組について</p> <p>(1) 3 回目接種に向けた手順について伺う</p>
			<p>1 子供の体力向上について</p> <p>(1) 子供たちの体力と運動能力の現状は</p> <p>ア 体力を低下させている背景について</p> <p>イ 体力調査の実施とコロナ禍の影響について</p> <p>(2) 体力向上の取組について</p> <p>ア 幼児期における運動遊びの現状について</p> <p>イ 令和元年度研究事業の成果と課題について</p> <p>ウ 新たな運動遊びの導入の考えについて</p> <p>エ 家庭と地域で取り組む運動促進について</p> <p>(3) 大崎市内小学校全校縄跳び大会の実現について</p> <p>ア 県教育委員会で進めている「w e b なわ跳び広場」の実施校について</p> <p>イ 「二階堂トクヨ杯縄跳び大会」の効果と「大崎市内小学校全校縄跳び大会」の実施の考えについて</p> <p>2 道路行政について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
15	3	鹿野良太	<p>(1) 広域的道路網の整備</p> <p>ア 大崎圏域において、本市と隣接する自治体とを結ぶ市道と町道で未整備となっている箇所について</p> <p>イ 田尻地域の市道富岡谷地中線と接続する美里町の町道平針田尻線においては、美里町の町道が未整備となっているが整備の見通し及び美里町への事業の協議、働きかけについて</p> <p>1 古川西部地区の防雪柵設置（除雪を含む雪害対策）について</p> <p>(1) 古川地域で特に雪が多い古川西部地区の防雪柵設置における計画の見直しはなされたか伺う</p> <p>(2) 市道飯川耳取線（志田踏切付近）の防雪柵設置はいつ頃になるか伺う</p> <p>(3) これまでの実績やデータを踏まえ、除雪の重点箇所は業者へ確実に申し送りされているのか伺う</p> <p>2 デジタル田園都市国家構想と連動した今後の取組について</p> <p>(1) デジタル田園都市国家構想の内容を本市としてどう見ているか伺う</p> <p>(2) 2030年「デジタル田園都市おおさき」の実現は、市民の暮らしやすさ向上に寄与できると考えるか伺う</p> <p>3 おおさき産業推進機構の構築について</p> <p>(1) 新たに「おおさき産業推進機構」を構築する意味と役割を伺う</p> <p>(2) これまで大崎市の産業界を牽引してきた「未来産業創造おおさき」の今後を伺う</p> <p>4 鳴子温泉地域の観光振興について</p> <p>(1) アフターコロナを見据えた観光振興における本市のこれまでの取組を伺う</p> <p>(2) 環境省の国立公園活用に係る補助金等を活用し、花淵山中腹（平場上部）への車の乗り入れ（有料）を可能にし、鳴子峡の混雑緩和、花淵山頂上へ徒歩でのアプローチ、世界農業遺産の大崎耕土から太平洋及び山形県の雄大な山々を望む天空観光地「大崎耕土を一望！鳴子パノラマ展望台」を整備してはどうか</p> <p>5 古川西小中学校開校に併せて地域学校協働本部を設置すべき</p> <p>(1) 地域学校協働本部が設置された松山地域においての実績と評価を伺う</p> <p>(2) 古川西小中学校開校に併せて地域学校協働本部を設置するよう準備すべきと考えるが、所見を伺う</p>	
16	22	山田和明	<p>1 大崎地域の自治体病院事業の在り方について</p> <p>(1) 大崎地域の各市町では地域医療を提供し、課題である人口減少と少子高齢化等の問題を抱えている中で地域医療を担う病院として継続できるようにしなければならない。</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>自治体病院は今後も地域医療を担う使命があり、安定的な病院経営ができるよう市長と町長で協議してはどうか、所見を伺う</p> <p>(2) 病院事業管理者としてどう捉えているのか</p> <p>(3) 連絡協議会を設け、事務レベルで協議してはどうか</p> <p>2 水害に強いまちづくりプロジェクト事業について</p> <p>(1) 水害に強いまちづくりプロジェクトとして、台風 19 号で被害を被った皆さんとの意見交換の場となるワークショップの取組について</p> <p>(2) 吉田川流域治水シンポジウムでのパネルディスカッションでは、流域治水を進める観点からコーディネーターの塚原氏から背割堤の箇所吉田川の水を鳴瀬川に排水することと新たに吉田川から分流する第 2 河川を整備し、松島湾に注ぐ提案が出され大変興味深く伺った。</p> <p>そのような提案は吉田川の流量をいかにピークカットし、水を治めるかの重大な発言であった。</p> <p>そこで、改めて二子屋地区で吉田川と鳴瀬川が最も近づく箇所に吉田川から鳴瀬川へ分流し排水する施設整備と新たに吉田川第 2 河川を整備について国交省へ提案をしてはどうか、所見を伺う</p> <p>(3) 住宅地の内水排除をしている排水機場は、運転継続できるよう国交省への要請はどう進捗したのか</p>
17	17	横山悦子	<p>1 消防団員の処遇改善について</p> <p>(1) 消防庁長官通知により、「非常勤消防団員の報酬等の基準」の助言が発出されてから約 8 か月が経過したが、報酬等の改正、本市として検討された内容について</p> <p>2 子宮頸がん予防ワクチン、積極的勧奨再開について</p> <p>(1) 昨年 10 月に国から対象者への情報提供に関する指示があったが、それに対する本市の対応と今後の予定は</p> <p>(2) 本市における実施通知世代における令和 2 年度の接種率及び通知未実施であった令和元年度の対象者の接種率は</p> <p>3 税金の徴収率向上策について</p> <p>(1) 本市の徴収率向上の取組について</p> <p>(2) 政府の方針、業務のデジタル化「DAIS」の効果と今後の活用方針について</p> <p>4 灯油購入の補助金助成について</p> <p>(1) 緊急福祉灯油助成について</p> <p>5 大崎市民病院について</p> <p>(1) 入院時に希望する患者さんがアメニティ用品セットを購入できるシステム構築について</p> <p>(2) 退院後の生活におけるの注意事項や栄養指導について</p>
18	10	氷室勝好	<p>1 住環境整備としての浸水対策について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
19	13	相澤久義	<p>(1) 近年の気象変動に伴い頻発な大雨などによる、住家等の浸水被害状況とその対策について伺う</p> <p>(2) 住環境整備としての排水路等整備事業計画等の具現化について伺う</p> <p>2 水害対策の取組について</p> <p>(1) 近年全国各地で豪雨等による水害や土砂災害が多発しているが、鳴瀬川、吉田川、江合川の河川及び流域対策について伺う</p> <p>(2) 浸水（内水）の排除に重要な機能が求められているが、排水機場能力の検証と整備計画について伺う</p> <p>3 水田農業振興への取組について</p> <p>(1) 米価下落等不確定要素の中、望ましい水田農業の構築に向けての検証と所見について伺う</p> <p>(2) 主食用米の適正生産量がより強く求められる中、定着性や需要がある作物への転換などの水田農業振興について伺う</p>
20	8	八木吉夫	<p>1 観光振興ビジョン並びに温泉振興のビジョンについて</p> <p>(1) コロナ禍でビジョン作成が先延ばしになっているようだが進捗状況は。また、観光振興ビジョンに先駆けて作成し、新たにつくる観光振興ビジョンに組み込むこととしていた温泉振興のビジョンでは、温泉の集中管理に触れているが、その後の進捗状況について</p> <p>2 誇りある農業～コメ作りを振り返って～SDGsへ</p> <p>(1) 令和4年産米について</p> <p>ア 主食用米の作付計画、備蓄米、飼料用米作付計画、CE瓶の増設、農業委員会農作業標準料金改正、受託委託料改正、水田が持つ環境保全と輸出に向けた米生産について伺う</p> <p>(2) 農業分野から見たDX田園都市構想の考えについて伺う</p> <p>3 新世紀公園整備について</p> <p>(1) 過日行われた「子どもサミット」で三本木小学校の代表から、新世紀公園に木々を生かしたアスレチックなどのある、老若男女が集える場所「巨大公園施設」整備が提案された。整備の考えを伺う</p> <p>(2) 都市計画税の充当先等について伺う</p>
21	23	氏家善男	<p>1 コロナ禍による来年度の経済対策について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
22	19	遊佐辰雄	<p>(1) 落ち込んでいる商工業の経済浮揚策について</p> <p>(2) 客足が遠のいている観光事業について</p> <p>2 消防団員の処遇改善について</p> <p>(1) 国の「消防団員の処遇改善等に関する検討会」では年額報酬3万6,500円、出動手当8,000円と定めたが本市とは開きがある。団員確保と併せ、市の考えを伺う</p> <p>3 地域福祉センターの改修について</p> <p>(1) 岩出山地域福祉センターの老朽化が著しい。デイサービス事業に大きな支障となっているため、早急な大規模改修に取り組むべきであるが、所見を伺う</p> <p>4 桜の名所地 城山公園の復活について</p> <p>(1) 桜の老木化が進み観光名所として名をはせた城山公園は今は寂しくなっている。住民有志が取り組んでいるが、時間がかかる。市として復活に向け取り組むべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>1 市長公約の新たな農業政策を踏まえた独自の農業経営対策について</p> <p>(1) 現在の国や県の農業政策では、家族農業はもちろん大規模農家でも米生産からの撤退が懸念されるが独自の農業経営対策実現の見通しはいかがか</p> <p>(2) 家族農業を守るにも農機具は必要不可欠である。しかし農機具更新は高額なため、農業を継続する人はごく一部であり、特に中山間地は、今後10年以内には半数以上が継続できなくなる。農機具の貸出し制度や助成制度は考えていないのか</p> <p>(3) 中山間地のイノシシ対策は急務である。電気柵等の助成は評価するが、それだけでは無理である。行政が主体となって個体数を本気で減らす対策が急務である、その考えはいかがか</p> <p>(4) 農水省の水田活用の直接支払交付金の見直し方針を受けての対応について</p> <p>(5) 市長の公約が実現できなければ大崎の農業は衰退してしまう。基幹産業である農業が衰退すれば、世界農業遺産認定地に悪影響である。市長公約の実現は果たせるのか</p> <p>2 鳴子温泉地域の旧ホテル、旅館等の早期解体について</p> <p>(1) 一時、解体する方向性が示されたようだが、その後の進展状況はどうなのか、見通しはあるのか</p> <p>(2) 老朽空き家の解体撤去について</p> <p>3 大崎広域西部玉造クリーンセンター廃止後の事業者系ごみ処理の支援策等について</p> <p>(1) ホテル、旅館等への支援策について</p> <p>(2) クリーンセンターの跡地利用について</p>
23	27	小沢和悦	<p>1 新型コロナウイルス感染症の第六波拡大を防ぐ対策</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
24	15	木村和彦	<p>について</p> <p>(1) いつでも誰でも気軽にPCR検査を受けられるよう、無料で受けられるようにすることについて</p> <p>2 原油高騰による影響から市民を守る対策について</p> <p>(1) 低所得世帯等への灯油代補助について</p> <p>(2) 園芸農家等農業経営支援策について</p> <p>(3) 影響を受けている業種への支援策について</p> <p>3 緒絶橋たもとの枝垂れ柳保存を願う世論と都市計画道路並柳福浦線拡幅工事について</p> <p>(1) 緒絶橋たもとの枝垂れ柳は一体的な大崎市にとって大事な歴史的遺産と認識しているか</p> <p>(2) 並柳福浦線拡幅工事に係る宮城県との協議で「枝垂れ柳の保存」、「緒絶橋の歴史にふさわしい橋」を主張しているか</p> <p>(3) 市長のこれからの対応</p> <p>4 都市計画道路稲葉小泉線に、古川本鹿島地区住民の車両乗り入れができる道路を整備することについて</p> <p>(1) 本鹿島地区の区画道路網整備事業の延長線上で実現することについて</p> <p>5 三本木パークゴルフ場改善工事について</p> <p>(1) 9月議会における「附帯決議」との関係</p> <p>(2) 完成目標は「全国大会が開催できるレベル」か</p> <p>6 民生委員及び民生委員児童委員協議会への市の必要な財政措置について</p> <p>(1) 民生委員は法律で無給とされているが、せめて実費相当の活動費は補償されるべきではないのか</p> <p>(2) 民児協運営費が不足しているため、民生委員がお金を出し合っている実態を知っているのか。それでも市独自の財政措置をしないのか</p> <p>(3) 石巻市と大崎市の差はどこから生じているのか</p> <p>1 地域拠点施設整備について</p> <p>(1) 地域拠点施設の設置時期について</p> <p>ア 選定に係るプロセスと住民要望の取扱い</p> <p>イ 設置規模と運営主体</p> <p>ウ 産直市場（道の駅）と捉える人が多いが周知の考え</p> <p>2 子育て支援と運営の効率のバランスについて</p> <p>(1) 公立幼稚園の考え方</p> <p>ア 公立幼稚園の運営基準と統廃合の考え方</p> <p>イ 保育所の民営化の進捗状況について</p> <p>(2) 保育所の待機児童解消について</p> <p>ア 第2子以降の保育所の受入れについて</p> <p>イ 緊急避難的な保育対策（緊急避難，短期，中期）</p> <p>3 市民病院の運営について</p> <p>(1) 医業収益と財政状況について</p> <p>(2) アフターコロナの病床使用率，財政補填の状況について</p> <p>(3) 3回目ワクチン接種の対応について</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
25	29	後藤錦信	<p>4 大崎市所有源泉の実情について</p> <p>(1) 下地獄源泉の現状と今後の運用について</p> <p>(2) さくらの湯源泉の現状と今後の運用について</p> <p>1 治水対策について</p> <p>(1) 流域治水関連法の施行に伴う本市の取組について</p> <p>2 職員人財育成について</p> <p>(1) 職員と地域づくりの関わりについて</p> <p>(2) 「プラスワン」公務員という視点について</p> <p>3 学校教育環境整備について</p> <p>(1) 鳴子温泉地域の小学校，中学校の統合に関する取組の現状について</p> <p>(2) 跡地の利活用について</p>
26	12	中鉢和三郎	<p>1 大崎広域西部玉造クリーンセンター廃止後の事業系一般廃棄物について②</p> <p>(1) 来春の西部玉造クリーンセンター廃止により，直接搬入している方，主に事業系一般廃棄物の排出者に，思いもかけない大きな不利益が降りかかる。現在，コロナ禍で経営的に疲弊している観光業を主とする地域の事業者にとっては大変な痛手である。事業継続を支援し地域経済の持続的発展を図るため，大崎市としてどのような対策を講ずる考えか，改めて所見を伺う</p> <p>2 世界農業遺産認定地から水素社会への発信について</p> <p>(1) 大崎地域は，東北地方唯一の世界農業遺産認定地域である。その環境先進地において，生物多様性，SDGs等々，大崎市がさらに深めていくべき方向性は，政府が目指す2050年CN（カーボンニュートラル）へしっかりコミットすることであると考える。豊穡の大崎耕土でCNへ向け可能性が最も高い貢献は，水素社会建設を推進することと考えるが，所見を伺う</p> <p>3 ジビエ活用について</p> <p>(1) 有害鳥獣の被害が日常化している昨今。様々な対策が効果を発揮しているものの，適切な個体数管理ができていない状況にはない。対策としてさらなる捕獲を進める必要があるが，インセンティブが働く捕獲個体の有効活用は一つの方策であり，ジビエ活用の体制整備が喫緊の課題と考える。放射能の影響等々解決すべき問題も多いが，ジビエ活用に対する所見を伺う</p>
27	9	佐藤講英	<p>1 児童の安全確保と地域の連携について</p> <p>(1) 保育施設や児童館，放課後児童クラブ，学童保育等における不審者対策の現状と課題や本市の対策について</p> <p>(2) 県の児童の安全確保を求める取組の通知について</p> <p>(3) 地域と連携して子供たちを守る対策について</p> <p>2 災害時における市民の安全対策について</p> <p>(1) 改正災害対策基本法と本市の避難対応について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			(2) 高齢者避難や高齢者以外の人 の避難と防災教育について (3) 水防法改正における要配慮者 利用施設の避難確保計画と訓練 の実施義務化について	